

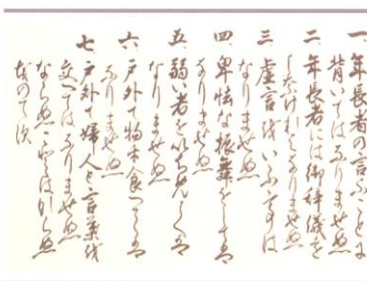
AOZORA 3rd

3 学年通信 7 月号
発行 7 月吉日

「ならぬことはならぬものです。」

学年主任

梅雨もまだ明けずにムシムシした日が続きますが、スッキリ晴れた夏を待ちわびるのは私だけでしょうか。以前に放映されたNHK大河ドラマ「八重の桜」に出てきた会津藩の藩校日新館での、入学する前の子供たちに向けての心得「什の掟(じゅうのおきて)」についてのお話を少し…。次のような文です。



- 一 年長者の言うことに背いてはなりません。
- 二 年長者にはお辞儀をしなければなりません。
- 三 虚言(うそ)を言うてはなりません。
- 四 卑怯(ひきょう)な振舞をしてはなりません。
- 五 弱いものをいじめてはなりません。
- 六 戸外でものを食べてはなりません。
- 七 戸外で婦人と言葉を交わしてはなりません。

これらの掟の最後を「ならぬことはならぬものです」で締めています。最後の項はさすがに時代遅れですが、他は今でも通用するものと思います。若者の規範意識が欠けているとの指摘がある昨今、自分も含めこの掟には考えさせられ、気付かされることがあります。

さて、「いじめ」や「暴力」などの言葉が紙面に多く取り上げられる毎日、この掟のようなものがこの現代にも本当に必要なのでしょうか？ 答えはNoだと思います。すべきことを、心の中にきちんと整えて入れてあれば、明文化する必要はないと思います。学校は、社会に出るための準備の場です。社会に出ると、「決まりを守らない」ことは許されないこととなります。会社だと職を失うことにもつながります。イヤでも我慢してやらなければならないのが大人です。社会に出るための準備の場が学校であるならば、それを文章化するのではなく、生徒の心に刻み社会に送り出すのが学校の務めなのではないでしょうか。

これからも「素晴らしい陸合中学校」を続けていくためにもご家庭の協力をいただきながら、私たちが努力していきたいと思っています。

新しい生活が始まっています！
互いの安全安心を第一に
前を向いて頑張りましょう！紺ジャージ！



生徒会始動 生徒総会について

生徒会担当

今月末には、生徒総会が開かれる予定です。今回は、なぜ生徒総会があるのか、生徒会活動の意義とは何か、お伝えしたいと思います。

全員登校が開始され、学校の生徒会活動も少しずつですが始まりました。学校は、生徒会活動がなくしては成り立ちません。例えば、普段石鹼やトイレトペーパーが当たり前に使っているのは厚生委員会が定期的に補充をしてくれているおかげですし、図書館で本が借りられるのも学芸委員がいるからこそです。「じゃあ委員会に入っていない人は関係ないじゃないか」と思う人もいるでしょう。当然、そんなことはありません。学校は生徒のためにあるもので、生徒一人一人の声为学校を作っていくのです。そして、その声を上げる場こそが生徒総会なのです。

これからの陸合中学校を作っていくために、ぜひ皆さんの声を生徒総会に届けてほしいと思います。

昼読が始まりました 図書館も開館しています

副担任

7月1日から、学校図書館が開館しました。新しい生活様式に基づき、図書館に入る前に手洗いを励行しています。また、密を避けるために、1学期中は椅子に座っての昼休みの読書はできません。でも、たくさんの方が新刊入荷の知らせを聞いて、来館してくれています。図書館には、面白い本や人気の本がたくさんあります。また、今年の新刊としてコナンのシリーズや、ヨシタケシンスケの本なども取り揃えました。

1学期は朝読書がなく、給食の配膳時に読書をする昼読書に取り組んでいます。自分の持ってきた本だけでなく、図書館や学級文庫の本からも、面白そうな本を見つけてください。なお、学級文庫も、本を触る前には手洗いをお願いしています。きれいな手で本に触れてください。給食時は「常に清潔な手で」活動しましょう。

安全安心な生活のためのルールを守っていきましょう。

